

薬務薬制部研究会 (Web 配信)

●日時：令和5年12月19日(火) 18:30～20:30

●参加費：会員 (東京都病院薬剤師会・東京都薬剤師会) ……1,000円
非会員 ……2,000円

※シール郵送料込み

※受講の受付・参加費の支払いはWEB決済システム「イベントペイ」を使用します。

薬学生(社会人学生は除きます) ……無料

●プログラム

1. 18:30～19:00 製品紹介

「サワイジェネリック安定供給への取組み」「酢酸亜鉛錠 25mg/50mg「サワイ」のご紹介」

沢井製薬株式会社

2. 19:00～20:30

『薬剤師の原点の一つである「調剤」について考える』

～薬剤師がどのように調剤と向き合い、医療安全に貢献するのか～

19:00～19:20

「調剤エラーの実態調査 - 20施設多施設共同研究の結果より-」

昭和大学 統括薬剤部/薬学部病院薬剤学講座 准教授 百賢二先生

19:20～19:40

「調剤支援システム/機器の導入は医療安全に貢献するか

- 20施設多施設共同研究の結果より-」

明治薬科大学薬学教育研究センター 臨床薬学部門 治療評価学 准教授 安武夫先生

19:40～20:00

「新人薬剤師教育、医療安全の醸成に向けて」

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部長 小林秀樹先生

20:00～20:30

「やってみよう！ できることからコツコツと ～医療安全の取り組み～」

聖路加国際大学 聖路加国際病院 薬剤部長 後藤一美先生

●申込URL：https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9710578846909564&EventCode=3633279596

学生はこちらからお申込みください <https://forms.gle/BSMXvvKt5na9Yaxn8>

●申込締切：令和5年12月9日(土)まで(定員に達し次第受付終了)

●募集人数：100名(先着順)

●受講認定(予定)：★薬学生にはシール交付はありません



(学生用)

出席者全員…日本病院薬剤師会の研修単位シール1単位(研修番号IV-1)

東京都病院薬剤師会会員…都病薬研修受講シール1単位

※次ページに注意事項が記載されています。必ずご確認の上、お申込み下さい。

●注意事項：

- ・ 受講の受付・参加費の振込に関しては「イベントペイ」からメールが届きます。ドメイン指定等されている場合は「@eventpay.jp」ドメインのメールを受信できるよう、事前に設定をお願い致します。
- ・ 薬学生の方は、大学から賦与されているメールアドレスで申込をお願いいたします。
- ・ Zoomを使用したWeb配信となります。安定した通信環境が準備できる場所で視聴してください。尚、受講者側の通信環境の影響で接続ができない場合については、当会で責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- ・ 視聴にかかる通信費は、受講者自身でご負担ください。
- ・ 当日の視聴URLは、受講が確定した方にのみメールで連絡いたします。
- ・ 研修シール配布のため、受講者のログイン・ログアウトタイムを管理いたします。
- ・ 同一施設内で複数名が視聴する場合も、申込は各個人で行ってください。複数名で視聴されても、1申込につき1枚の認定シールしか発行できません。申込者それぞれの端末で視聴をお願いします。
- ・ 不測の事態等により研究会が中止になる場合は、東京都病院薬剤師会ホームページにてお知らせいたしますので必ずご確認ください。
- ・ 研究会におけるシール発行には、講演中に提示されるキーワードの提出が必要となります。詳細につきましては、当会ホームページをご確認ください。

研究会の趣旨

薬務薬制部は病院薬剤師の業務を考える常置部会です。業務の内容を検討し、病院薬剤師の『夢を形にする』のが薬務薬制部の仕事です。臨床試験推進小委員会、病棟業務整備小委員会、ファーマシーマネジメント小委員会、社会保険制度小委員会の4つの小委員会が設置されています。それぞれ特徴の有る業務を相談するために独立した小委員会となっており、互いに連携しながら活動しています（ <https://www.thpa.or.jp/report/yakumu/> ）。

調剤は薬剤師固有の職能であるものの、特に病院においては調剤に費やす業務時間が少なくなり、若手薬剤師に対しては、危険な調剤エラーを効果的に学ぶ「場」が少なくなっているのも事実です。そこで今回は、20施設の薬剤部門において調剤エラーに関する前向きの実態調査（Biol Pharm Bull 2022）を行った先生方を演者に講演会を企画しました。

新任職員だけでなく昨年度に研鑽の機会を得られなかった若手職員、プレイングマネージャーとして活躍されている中堅職員の方に知っていただきたい内容です。

★薬学生のみなさまのご参加もお待ちしております。